

鳥取県地震

2021年（令和3年）1月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	1
(3) 地震・津波の知識	
震度について	2

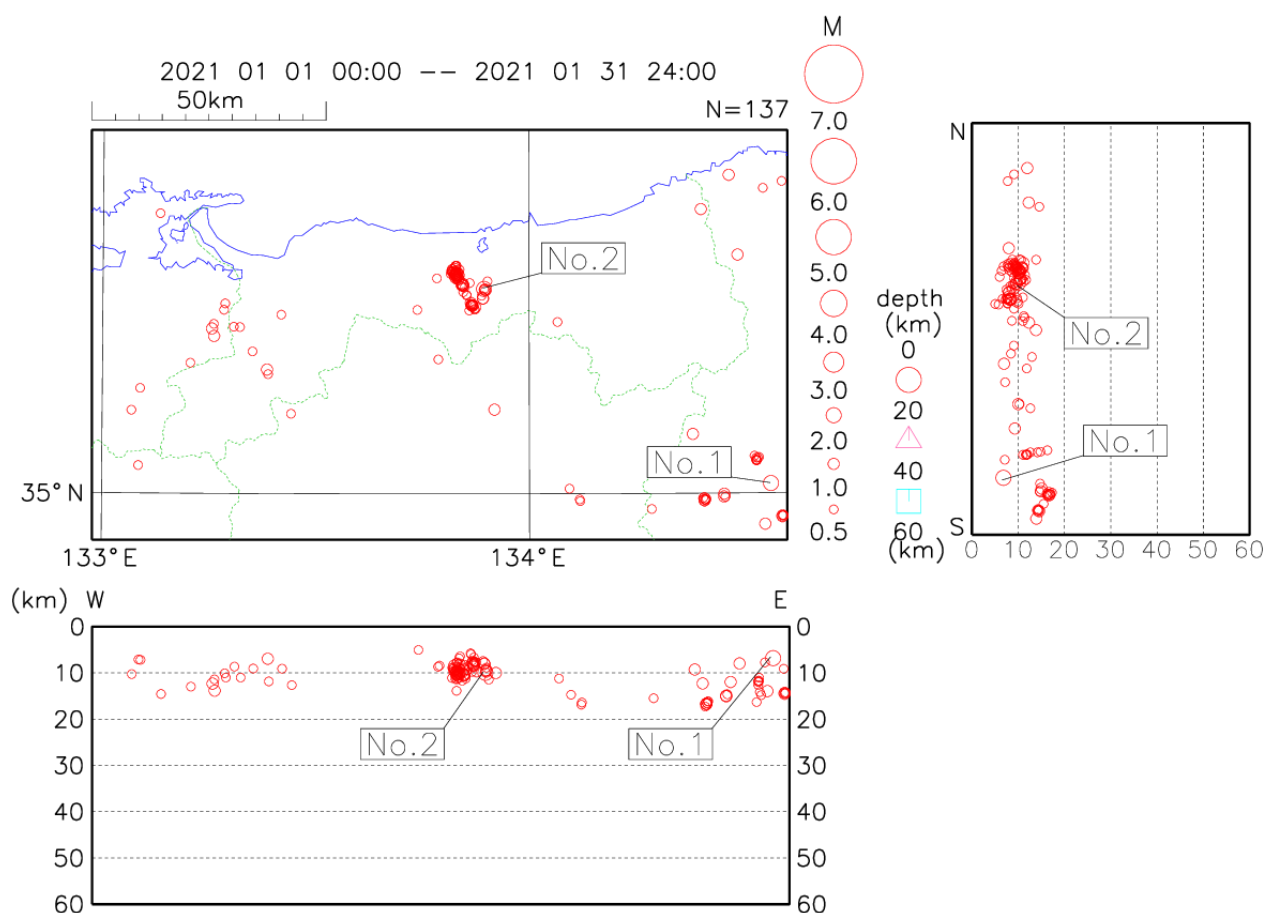
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

＊ 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。

大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2021年1月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震はありませんでした（3カ月連続）。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は2回（前月も2回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2021年1月1日00時00分～2021年1月31日24時00分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2021年01月02日20時00分	兵庫県南西部	35° 1.1' N	134° 33.8' E	7	2.3	—
2	2021年01月06日06時48分	鳥取県中部	35° 23.6' N	133° 53.6' E	10	2.0	—

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

令和3年1月に、鳥取県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

(3) 地震・津波の知識

震度について

日本周辺で地震が発生し人が感じられる強さで地面が揺れたとき、気象庁では「震度」という尺度を用いて各地の揺れの大きさを測定し、その結果を「震源・震度に関する情報」や「各地の震度に関する情報」といった地震情報として発表しています。

この震度というものは正式名称を気象庁震度階級といい日本の独自規格です。もともとは、気象庁職員の体感や建物の被害といった地震の揺れによって生じる結果から判断されていましたが、地震計の技術発展により自動化・遠隔化が可能となり、客観性の確保や無人観測が可能となるというメリットもあることから、気象庁は1985年から震度観測の器械化に向け検討を開始しました。1990年には地震によって地盤が受けた力の

大きさを測る加速度計を基にした計測震度計が完成し、1991年～1994年にかけて全国の気象台・測候所に設置されていきます。

しばらくは職員の体感と並行する形で震度の観測が行われていましたが、1995年の阪神・淡路大震災を受けて気象庁震度階級が改正されるとともに、体感観測が廃止され計測震度計のみを用いる観測へ移行し全国に無人の震度観測点が概ね20km四方に1か所の割合で新設されました（鳥取県内は2ヶ所）。これとは別に、地震発災時に防災関係機関が初動対応のトリガーとして活用する目的で、消防庁により全国の市町村へ計測震度計が展開されました（県内34ヶ所）。

当初、それぞれの震度観測結果は別々に利用されていましたが、気象庁と消防庁との間で協議の結果、双方の観測で得られた震度を一括して気象庁から地震情報として発表することが適切と判断され、1997年から2003年にかけて準備の整った都道府県から順次地震情報へ取り込まれていきました。鳥取県では1998年10月15日に発表を開始しています。

また、防災科学技術研究所がHi-netやK-NETといった地震観測ネットワークを同時期に構築しています。このうち強い震動を観測するために設けられたK-NET観測点では震度観測が可能で、2004年から2007年にかけて準備の整った観測点から地震情報での発表が開始されました（県内6ヶ所）。



図1：気象庁震度階級

こうして 2021 年現在、全国で 4,375 ケ所、鳥取県内で 46 ケ所に震度観測点が整備され、いつ何時でも地震の発生から概ね 5 分以内に地震情報として震度を発表できる体制を整えています。

震度は、地盤の硬さや建物の強度・階数、震動を受けた時の姿勢によって感じ方が大きく変わってきます。また、震度計から離れた場所で規模の小さい地震がごく浅い深さで発生した場合は、震度計ではとらえられず、震源の直上にいる人だけが揺れを感じる場合もありますので、震度の特性をご理解の上で地震情報をご活用いただきますようお願いします。

鳥取県内の震度観測点

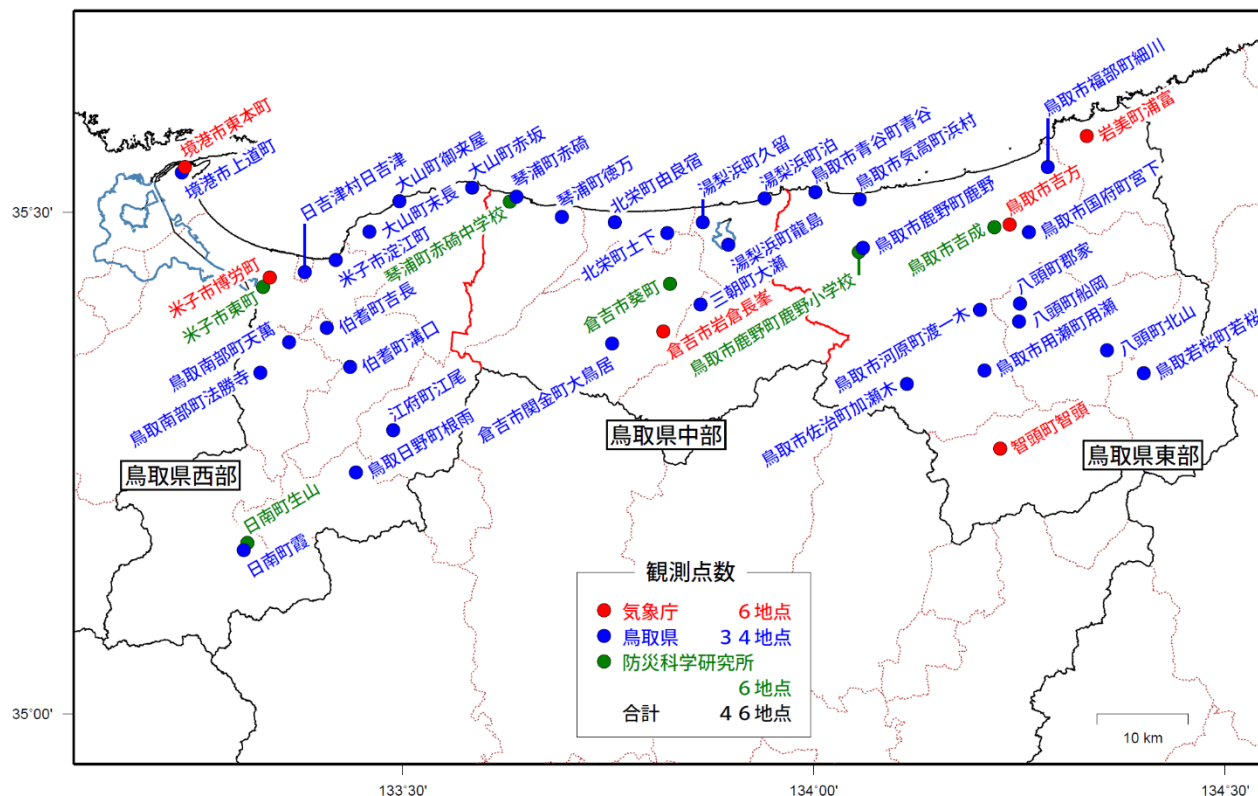


図 2：鳥取県内の震度観測点

(参考)

- 震度について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/index.html>

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和 3 年 1 月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/tottori/bosai/jishin/jishin.html>

出前講座問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313